

市長とランチミーティング

畜産業の若手育成に支援を！

「日本」幸せあふれるまち石垣市」をめざして、市民の生活目線で市政に関する意見や提案などさまざまな「市民の声」を聴き、市政に反映させることを目的に、市長と食事しながら気軽に話し合う「市長とランチミーティング」を毎月1回実施していきます。第1回目は7月12日(月)に石垣島和牛改良組合青年部の皆さんと行いました。そのミーティング内容を紹介します。

中山市長 本日はご出席いただきありがとうございます。それでは、皆さんのご意見をお願いします。

地元で家畜人工授精師講習会の開催を



青年部 沖縄県の家畜人工授精師講習会は年1回、沖縄県農業学校(名護市)で開催されています。毎年受講できるのは農業学校の学生のみで、受講希望者が多いため、農家は2年に1度しか受講できません。受講者の枠は制限されており、八重山地区から受講できるのは1,2人です。

組合青年部としては、人工授精師は多くいたほうが良いと思います。なぜなら、自己の母牛のコンディションを把握できるため、繁殖成績も向上し、生産性を上げることができます。同講習会は約1カ月の研修を得て、受験しますが、県内の受



講枠が制限されているため、八重山の希望する農家は県外の講習会に参加しているのが現状です。そして、研修のため約1カ月、島を離れると牛の管理ができず、長期滞在による経済的負担が大きいです。

家畜人工授精師講習会を畜産の盛んな石垣で開催することができないでしょうか。牛の頭数からしても開催する意義があるのではないかと思います。本市

でも家畜人工授精師講習会が開催できるよう努力します。ところで、人工授精師の受験資格はありますか。また、石垣に人工授精師はどれくらいいますか。それから今日出席している皆さんの中で人工授精師の資格をもっている人は何人いますか。

青年部 人工授精師の受験資格はありません。また、石垣に人工授精師は約100人です。そのうち、営業職としての人工授精師は1割、10人ほどいます。今日出席している青年部の中で人工授精師の資格をもっている人は2人います。

市役所に畜産専門指導員(アドバイザー)の配置を

青年部 石垣市に所在する畜産関係機関には専門員が配属されているが、県では3年毎に配置換え、JAは広域合併後に配置換え等があり、地域性を熟知し農家と親密に相談できる指導員が定着しにくい現状です。

牛の改良、飼養管理、経営環境等が多様化している中、島の特性を理解し経営感覚に優れた専門指導員(アドバイザー)を市役所畜産課に配置し、窓口対応から指導までできる態勢を整えてほしいと思います。

黒島農林水産部長 沖縄県畜産会という組織があり専門アドバイザーがいます。常駐している専門アドバイザーはいません

市長とランチミーティング

が、要請すれば、来て講習をしてくれます。また、家畜改良協会もあるので、連携をとっていきたくて考えています。



獣医師学校への推薦と学費支援

青年部 市内で家畜の診療業務をしている獣医師のうち、八重山出身者は3人います。将来の畜産業を考えた上でも獣医師の確保は重要な課題です。6年間の学費が高額なため、市の「人材育成」の一環として将来、島に戻り従事する意志のある学生の進学に支援していただきたい

と思いますが。
中山市長 石垣市の奨学金制度もありますので、利用していただきたいと思います。この件は検討します。

制度資金、基地事業等の活用による就農並びに規模拡大支援

青年部 初めて畜産業に取り組もうとやる気のある若者が事業をしやすい環境づくりについて検討していただきたいですね。
黒島農林水産部長 畜産基地事業を採択する際、近年国の審査が非常に厳しくなっています。事業の採択基準が大きく変わってきているので、その緩和、事業導入について、要求しています。国は事業枠を持っているので、意欲があれば、事業導入は可能です。個人ではできないので、生産組合、法人等を設立して事業を導入することになります。その際、制度的要件があるので、お互いの話し合いが必要で、ぜひ、畜産課窓口にご相談してください。

新良畜産課長 畜産課では昨年、家畜セリ市場で補助事業について説明会を実施しました。「畜産担い手育成事業」という事業があり採択基準は認定農業者または認定志向農家に限られています。現在、平久保牧場を計画しておりJAの事業と合わせ



せて畜産農家の草地造成が畜産担い手育成事業としてあります。平成23年度からソフト事業を整備していきたい。採択基準をクリアしてこの事業に参加してもらいたいですね。

青年部 畜産担い手育成事業は何件の農家が参加していますか。

新良畜産課長 13件程です。土地改良されていない農地が全体で30ヘクタール以上という条件

があります。

青年部 初めて畜産をする人のために市有地を貸し付けて事業を導入していくという方法もあると思います。そのためには相談できる窓口が必要です。農家それぞれのニーズにあった事業があると思うので、窓口でわかりやすく一覧できるように環境を整えてほしいですね。将来、畜産農家が増加し、台湾に牛肉を輸出することを考えた場合、屠場の整備が必要になると思いますが、また、新空港の開港も間近です。

中山市長 そうですね。この意見が実現できるよう取り組みたいと思います。母牛の更新などについてどうですか。

青年部 流通がうまくいけば、年間1,000頭は確保できるのではないかと思います。

中山市長 年間1,000頭の肥育牛が確保できれば、その分の屠殺量を処理できる食肉センターを作らなければならないと思います。母牛の系統を全部揃えることはできませんか。

青年部 現在、改良組合が推進しているところです。

中山市長 今日皆さんからあつた意見や要望は、いろいろと調査し対応していきたいと思っています。いつでも気軽に声をかけてください。また、こちらから意見聞きに行くこともあります。ぜひ、八重山の畜産界の発展にご尽力いただきますよう期待しています。